

# で議案を審査

## すべて可決すべきものと決定

### 総務文教常任委員会

#### 「7項目を審査」

会計年度任用職員制度の給与及び費用弁償に関する条例の制定

地方公務員法の改正で、臨時職員や非常勤職員について、会計年度任用職員制度が導入されるが、制度の詳細を伺う。

会計年度任用職員制度の移行に当たり、現在勤務している臨時・非常勤職員に意向調査を行う。新規の任用は公募を基本とする。任用期間は原則として一会計年度以内となり、現行の任用回数の上限は廃止する。また、期末・通勤手当は正規職員と同様な支給水準とし、休暇については国の非常勤職員制度に準じて規則で定める。

燕市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定

休業後、職務復帰時の昇給の扱いや、



条例の制定により、海外での国際活動も可能に

現在の職員に対する自己啓発の支援制度について伺う。

復帰の際、研修内容が業務に生かされると判断された場合は、通常の2分の1の昇給を認める。制度では、指定した資格の取得や自主勉強会への経費補助を行っているが、条例の制定により、海外での国際貢献活動などができるようになる。

燕市立幼稚園条例及び燕市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の二部改正

保育料の無償化に当たり、国の方針に基づいた副食費を保護者から負担してもらう市の考えや、本年度の国の臨時交付金の増額について伺う。

副食費の実費負担額は、国の公定価格に基づき示された金額である。無償化に伴い、これまでの保育料基準額の軽減分に相



10月から幼児教育・保育の無償化が始まる（内閣府HPより）

当する交付金は、保育の充実などの事業に財源を充当したい。また、負担額は経済状況など必要に応じて見直しを行う。今後は他市の動向を注視し、調査研究を進めたい。

燕市社会教育施設使用料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定

使用料見直しの基本方針について伺う。受益者負担の適正化について、施設利用者のバランスや地区による使用料の差額の是正などを基本にする。

反対討論 減免の基準や物販におけるさまざまな矛盾が解決されていない中、条例制定に賛成できない。

賛成討論 施設の維持管理や公平性を考え使用料の見直しは必要である。見直しを行わなければならない部分もあるが、不都合があれば適宜、見直しを図っていけばよい。したがってこの件について賛成である。

その他

- ・会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- ・新潟市と燕市の境界変更の申請
- ・令和元年度燕市一般会計補正予算（第5号）

### 市民厚生常任委員会

#### 「7項目を審査」

燕市税条例等の二部改正

自動車取得税が廃止され、環境性能割が導入される。財源の確保と税制改正に関する市民へのPRはどうか伺う。

国の示す資料から試算すると、今年度は半年分の自動車取得税交付金と環境性能割交付金などで、前年の約9千万円に対し、約7千万円が確保できると考えている。PRは、議決後に詳しくホームページで公開する予定である。

# 常任委員会



燕市のホームページ

令和元年度燕市一般会計補正予算（第5号）

妊産婦医療費助成の当初予算からの大幅な増額について伺う。

### 産業建設常任委員会

#### 「2項目を審査」

令和元年度燕市一般会計補正予算（第5号）

土木費の消雪施設整備事業について、今回の補正予算における消雪施設の整備内容を伺う。

消雪用の井戸3カ所、そのうち掘り直し2カ所、二重ケーシング1カ所、消雪パイプ散水管改修が2地区となっている。

豪雪の場合の対策について伺う。

近年の豪雪では、消雪パイプ機能の限



消雪パイプ機能にも限界がある

現物給付のスタートに伴い、制度の周知や申請の啓発に努めたことが増加した要因のひとつである。

その他

- ・燕市印鑑条例の一部改正
- ・燕市手話言語の普及等の推進に関する条例の制定
- ・字の変更
- ・令和元年度燕市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・令和元年度燕市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

道路改良や下水路整備で、自治会などの要望に応えられる割合や、予算の確保について伺う。

要望にすべて応えられる状況ではないが、事業内容の精査や効率的な事務執行を心がけ、なるべく要望に応えていきたい。地域の要望は重要と認識している中で、厳しい財政状況であるが、全体のバランスを考慮しつつ、さまざまな面で工夫しながら予算確保に努めていく。

その他

- ・燕市都市公園条例の一部改正